

件名	第19回 蒲田都市づくり推進会議	
日時	令和5年8月31日(木) 9:30~11:30	場所: 大田区役所2階202・203会議室
出席者	27名出席(代理出席含む) 別途資料参考	
配布資料	第19回蒲田都市づくり推進会議資料	

(以下、敬称略)

◆開会

- ・鉄道・都市づくり部 拠点整備第二担当課 蔵方課長より、挨拶。資料確認

◆資料説明(報告事項)

- ・後任の学識経験者となる日本大学 理工学部 土木工学科 大沢教授が電車遅延による遅刻のため、報告事項の説明を先に行った。
- ・鉄道・都市づくり部 蒲田駅拠点整備担当課 杉課長より、蒲田駅周辺地区基盤整備方針(概要版)(資料1)の説明を行った。
- ・鉄道・都市づくり部 拠点整備第二担当課 蔵方課長より、大田区駐車場整備計画(蒲田地区)(素案)(資料2)、の説明を行った。
- ・鉄道・都市づくり部 鉄道・都市づくり課 山田課長より、大田区鉄道沿線まちづくり構想(案)(資料3)の説明を行った。

◆出席者紹介

- ・大沢教授が到着し、蔵方課長より委員の紹介及び、中井座長・屋井副座長の退任の説明を行った。
- ・後任の学識経験者となる日本大学 理工学部 土木工学科 大沢教授、東京工業大学 環境・社会理工学院 建築学系 大森准教授副座長より、挨拶を賜った。
- ・蔵方課長より、座長・副座長の選任について説明を行った。
- ・座長について、蒲田東口地区まちづくり協議会 田中彰一会長より大沢教授の推薦があり、拍手多数により委員の同意がなされた。
- ・副座長について、大沢座長より大森准教授の推薦があり、拍手多数により委員の同意がなされた。

◆資料説明(議事)

- ・鉄道・都市づくり部 拠点整備第二担当課 蔵方課長より、蒲田駅周辺地区におけるまちづくりについて(資料4)の説明を行った。

◆【参考】地元関係者委員自己紹介

小山委員)

一番印象に残っているのが、京急蒲田の高架ができるにあたり最初からまちづくりに携わっていたので、夢ではなく現実になるのだなという実感。

蔵方委員)

蒲蒲線ができることにより蒲田西地区も発展すると思い、地元としても賛成。

田中(彰)委員)

賑わいあふれる住みごこちのよい安心安全なまちをスローガンに昭和60年から活動を続けている。

岩下委員)

蒲蒲線の地元である蒲田東口地区の商店街を代表して地元の意見を行政に反映頂けるよう期待している。

森田委員)

蒲田西口商店街振興組合にて今年6月から理事長となり、まだよくわからないことがあると思うが、皆様のご指導ご鞭撻を賜りながら地元へ情報を伝えたいと思う。

望月委員)

蒲田大好き委員会は蒲田の西口・東急・駅ビル・東口・京急蒲田、オール蒲田として年に1回集まってい

る。蒲田の発展のために、西口の容積率 700%の範囲が狭く、東口のように広範囲に直して頂きたい。

田中（常）委員）

個々の意見や都合等は色々と思うが、全体の蒲田としてどうしていくべきかを考えられればと思う。

宮澤委員）

高齢の方、障害の方が歩きやすい、住みやすいまちづくりを推進したい。

◆意見交換

全体を通して

大沢座長）

それでは皆さん如何でしょうか。

森田委員）

蒲蒲線ができたときに、東口の駐輪場を現在整備していると思うが、それと地下にできる駅は連動する形で整備されるのか。蒲田駅の北口通路が皆さんご存じの通り、大変暗く治安が悪く感じられる。どのくらいの計画スパンで直す予定か。

⇒大田区 並木委員）

新空港線の詳細な事業計画は羽田エアポートライン株式会社で具体的な駅の位置を含めて現在検討している。東口の駐輪場との接続について、新駅は基本的には西側にできる予定であるが、基盤整備方針で説明のあった東西自由通路等を介してシームレスに東西を繋いでいく中で不便にならない連携の仕方を考えていきたい。

2点目の北口の通路について、現在地下にある通路は説明頂いた通り老朽化し、暗く狭くバリアフリーでないため解消していきたいという区の考えはある。

資料 3・p7 図上部にオレンジ色の破線の矢印があり、蒲田駅東口駅ビルの北側から西口にかけて、線路上空にデッキを渡すような形で考えている。現在、駅周辺の関係事業者と協議・調整を重ねている。具体的な時期は明確にはなっていないが、2040 年代を見据えて整備を計画していきたい。

田中（常）委員）

現時点は具体的な細かい話をする段階にはなく、全体としてどうするのか考えていく必要がある。

また、駐車場について、どのような動線とするのか、誰をそのエリアに結ぶのか、交通計画も含めてこれから考えていきたい。

望月委員）

大田区は我々に情報を出してくれないと、置き去りにされては困る。区と地元と一緒に協力して、良いまちを作っていこうとしなければ、良いものがないと思う。

岩下委員）

蒲田の東口のメイン通りはぼぷら一ど 1、2、駅前大通なので、伸びしろが南しかないというのは仕方がないとして、北の方の動線もしっかり押さえて、グランデュオの周りにデッキを巡らせて東西を自由に行けるように、また、できればグランデュオの計画をはっきりと教えて頂きたい。

田中（彰）委員）

この 10 年 20 年で蒲田のまちのこの先の 100 年が決まってしまうくらい大きな局面を迎えている。

いろいろな案の中から、良い所悪い所それぞれあるなかで、議論をつくす時間もまだ若干あると思う。色々な案を聞かせて頂きながら地元を持ち帰って地域で検討して、皆さんが一番蒲田エリアの中で最適な案を選択頂けるような段階をつくって頂きたい。区の中で徹底的に議論して学識先生を入れながら絞り込んでいるとは思いますが、その段階で、地元も参画させて頂く場を踏まえて、都市づくり推進会議以外にも部会等、経緯が地元に見えるような、密に話し合う機会をつくって頂ければありがたい。

藏方委員）

グランデュオ、JR 蒲田駅、東急線、蒲蒲線のホームと、全体的なものがある程度固まらなないと個々に決めてもまとまらない。計画をしっかり押さえながら情報を流して頂き、我々も発言することも必要だと思う。

田中（常）委員）

駅前ロータリーは暫定という形で議論してきている。この次がどうなるのかという方向性を出していかないと、まちづくりとリンクしない。是非出して頂きたい。

大田区 齋藤委員）

この会議は第一回、課長であった頃からサポートしている。グランドデザイン・再編プロジェクトの作成にも係っているの、過去の経緯も含めて皆様の声を真摯に受け止めていきたい。

その中で、具体化するために関係事業者、JR、東急との会議も設けている。水面下の交渉もあるので全ては公開できないものもあるが、できるだけ公開していきたいと考えている。

ランドデザインを最初につくったとき、地元の方々からは絵に描いた餅ではないかと厳しい声を頂いたが、私たちとしては中長期の将来像を描くと同時に、できることはすぐに取り組んでいくということで、西口広場の段差解消も行った。やれることを着実に進めていくことが大事だと思う。

それと同時に少し先のこともやらなければならない。新空港線の実現が東京都と合意したので、そこも含め是非ご協力のほどよろしくお願ひしたい。

大田区 谷田川委員)

東口の地下自転車駐車場の工事発表がされ、関係者との調整を進めており、今年度中になんとか発注できればというところまでこぎつけている。現場等の観点もあるので非公開の情報もあるが、今後も様々な情報があれば個々で対応していきたい。旧逆川道路の整備の時のように、民間の方々とは協力・情報共有をし、信頼関係を深めながら進めたい。

小山委員)

名簿を見ると、グランデュオ、東急プラザが出席していない。これだけ大きなことをやるにもかかわらず、最初から参加することは考えていないのか。一番大事なところが抜けていると思う。

→大田区 齋藤委員)

事業者が地元の方の意見を聞かないということは決してないが、このような公の場での意見にすぐに返事をするのは難しく、社内へ持ち帰らないといけなないので、返ってご迷惑をおかけするのではないかとということで、ここで直接意見をいただくというよりは、我々行政を介して声をお届けする方が良いのではないかと、あるいはある程度案が固まった段階で皆さんとお話しすることはあると思うが白紙の段階では厳しい、ということをお聞きしている。今の段階では、ご意見を出して頂いてそれをお届けするという形でいかがか。

→小山委員)

おっしゃるとおりではあるが、固まりかけて話を持っていくと、そこまでに話が進んでいて、共同ではできないことが出てくるのではないかと。事業者の力をお借りしないと、この開発は難しいと思うので、なるべく一緒に考えていきたい。

→大田区 並木委員)

並行して東急電鉄、JRとも協議を進めている。固まった案として区がこの会議に提案するのではなく、並行してこの都市づくり推進会議を今まで以上に頻繁に開催させて頂きながら、10年前に本会議で策定いただいた再編プロジェクトの改定の議論を、次回以降この会議の中で皆様と共にしていきたい。

区を介して駅ビルの事業者が考えていることや、現時点での案を示しながら、皆様の声も逆にフィードバックをしていくということで円滑に進めていきたい。

大森副座長)

皆さんのご意見を本当にそうだと思う。私は過去東急で働いていたので東急に肩入れしないようにしたい。蒲田は大きな目でみると渋谷の開発と似ている。JR（旧国鉄）と東急の接点の駅で、東横線が地下に入って副都心線と繋がるのがきっかけで、それに合わせて水害対策、渋谷川の付け替え等が行われたが、蒲田も多摩川線の一部が地下化して新線に直結することとJRとの接点、渋谷には川があったがここも標高が低いので水害対策等も行うこと、等を含めて、100年に一度の都市基盤整備をしていかないといけないというところが非常に似ている。

あえて違いを言うと、渋谷は東急が主体となっていたが、蒲田はグランデュオということでJRが大きな資産を持っており、老朽化してきているのでJRも色々やりたいのではないかと考えている。そういう面では渋谷より動きやすいのではないかと推測している。

JRも東急も新空港線を頑張りたいと思っていると想像し、JRもグランデュオの建て替え含めて東西の自由通路を進めたいのではないかと。皆さんの意見を反映させることは渋谷以上に重要なことだと考える。

大沢座長)

特に地元の皆さまから個々ではなく全体だと、地域をきちんと考えようというご意見があった。今まで、旧国鉄時代等ではもしかしたら閉鎖的、駅は当然、官の施設ということだったが、これからの駅は地域に開かれた建築物として、どう地域のみなさまと一緒に盛り立てていくのか、ということが重要であり、蒲田においては、蒲蒲線というプロジェクトが動き出して、ちょうど良い改編する機会に恵まれたということなので、先ほどから皆さまからあるように100年に一度のことであり時間もかかり、もしかしたら途中でいがみ合うこともあるかもしれない。それでも次の世代に残していくために、皆さまのご協力を頂きたい。

地元の皆さまからも、事業者間で調整があるのはわかるが、絞り込む段階で話を聞かせてほしいという意見がある。先ほど最適解という話を頂戴したが、これが一つの答えになってしまう。全員が同意というのは、

恐らくなかなか厳しいが、どうにか一つの方向の最適解を見つけるということに対して、一つの案では厳しいのでいくつかの案を示していただきながら皆で最適解を見つけていこう、という声もあるので、この都市づくり推進会議も定例会ではなく議題が上がってくれば、ぜひ地元の皆様も集まって頂いて、会議形式で大きい図面を置くなどして色々と意見を出し合うようなことができればと思う

と言いつつ、ここ数年、とにかく進化が目まぐるしい。ランドデザインの改定をお手伝いした時、電動キックボード等、ほとんど考えていなかったものが、今巷では良くも悪くも盛り上がっている。コロナ渦前と比べ進化が速いことに対して、まちとして受け入れる体制を作っていかなければならないので、今まで以上にここに参加されている皆さまで、当然今の問題も解決しなければならないが、20年後30年後はだれも予測はできない中で予測しながら夢を語らざるを得ない。

その夢を少しずつ実現させるために、広い心で見えていただくと同時に、なかなかプロジェクトが動かないとせつなくみんなで議論したのに「あれ？」と思うかもしれないが、池袋も最初の10年は何も動かなかったが、動き始めると加速度的に進んだ。目に見えるものが動くためには下の準備が大変なので、皆さまのご意見もいただきながら、踏ん張りどころではないかと思う。実際にプロジェクトの弾が鉄道の延伸など出てきており、ここから腰を据えて今まで以上に議論していきたい。

◆その他・閉会

大田区 齋藤委員)

現在、大田区では基本構想の改定作業を行っている。その中で、2040年ごろの大田区をどんなまちにしたかという意見を募集している。傍聴の皆さま含めてご協力頂ければと思う。

事務局)

次回の第20回蒲田都市づくり会議の日程は改めて調整する。

以上

令和5年度 蒲田都市づくり推進会議 構成員名簿

役職	区分	氏名	所属・役職等
座長	学識 経験者	大 沢 昌 玄	日本大学 理工学部 土木工学科 教授
副座長		大 森 文 彦	東京工業大学 環境・社会理工学院 建築学系 准教授
委員	地元 関係者	小 山 君 子	蒲田東地区自治会連合会 会長
		藏 方 庸 光	蒲田西地区自治会連合会 会長
		田 中 彰 一	蒲田東口地区まちづくり協議会 会長
		岩 下 充 博	蒲田東口商店街商業協同組合 理事長
		森 田 充 浩	蒲田西口商店街振興組合 理事長
		望 月 清 志	蒲田大好き委員会 会長
		田 中 常 雅	蒲田再開発推進委員会 委員長
		宮 澤 勇	特定非営利活動法人 大身連 理事長
	区議会 議員	馬 橋 やすとき	まちづくり環境委員会 委員長
		松 本 洋 之	まちづくり環境委員会 副委員長
	東京都	新 良 京 子	都市整備局都市基盤部 交通企画課長 ※1
		鴫 田 正 明	都市整備局都市基盤部 街路計画課長 ※1
	大田区	並 木 芳 憲	鉄道・都市づくり部長
		齋 藤 浩 一	企画経営部長（鉄道・都市づくり部 参事）
		山 田 誉	鉄道・都市づくり課長
		西 山 正 人	まちづくり推進部長
		深 川 正 浩	まちづくり推進部 都市計画課長
		武 藤 和 志	まちづくり推進部 公共交通・臨海部担当課長
		立 花 匡	まちづくり推進部 防災まちづくり課長 ※2
		林 剛 士	鉄道・都市づくり部 新空港線・沿線整備担当課長
		藏 方 博 史	鉄道・都市づくり部 拠点整備第二担当課長
		杉 茂 樹	鉄道・都市づくり部 蒲田駅拠点整備担当課長
		柞 木 尚	都市基盤整備部 都市基盤管理課長
		五ノ井 巖 暢	都市基盤整備部 都市基盤計画調整担当課長 ※2
		谷 田 川 泰	都市基盤整備部 建設工事課長
	神 保 徳 幸	都市基盤整備部 地域基盤整備第二課長	
オブザーバー	国	柳 田 穰	国土交通省 都市局 都市計画課企画専門官

※1 オンライン参加者

※2 欠席者

◆当日の状況

